

FIDO2 Certification Press Release

Web でのパスワード利用を削減すべく ハイテク業界のリーダー企業が FIDO2 認定ソリューションを発表

FIDO2 認証標準により、脆弱なパスワードを生体情報やセキュリティキーなどの便利な代替手段に置き換えて、Web サイト上で暗号的に安全なログインができるようになります。また、国内からはヤフー株式会社（以下、ヤフー）が FIDO2 認定を取得しました。これにより、ヤフーが提供するサービスにおいて数多くのユーザーが間もなく安全なパスワードレスログインを利用できるようになります。

カリフォルニア州マウンテンビュー、2018 年 9 月 26 日 - [FIDO アライアンス](#)は、Web 上でのパスワード利用を削減するため、FIDO2 対応ブラウザおよび初の FIDO2 認定製品を本日発表しました。これにより、今後どの Web サイトでも、W3C および FIDO アライアンスが策定した FIDO2 の堅牢な認証プロトコルと、デバイスに搭載された生体情報や FIDO 対応のセキュリティキーなどの便利な代替手段を使用して、パスワードを暗号的に安全なログインに置き換えることができます。

[今年 4 月に Web 認証を発表して](#)以来の大きな進展として、現時点で既に [Google Chrome](#)、[Microsoft Edge](#)、[Mozilla Firefox](#) の各ブラウザが FIDO2 をサポートしています。このブラウザ対応に加えて、さまざまなユースケースをサポートする新たな FIDO2 認定製品により、サービスプロバイダーは Web サイトとアプリケーションに FIDO 認証を導入するために必要なすべてのツールを備えたことになります。FIDO 認証により、パスワードに関連するフィッシングやセキュリティのリスクを防ぎ、パスワードを記憶して入力するより優れたユーザー体験を提供し、認証に要するサポートコストを削減できることが[明らかになっています](#)。

FIDO アライアンスのエグゼクティブ・ディレクターであるブレット・マクドウェルは、「FIDO2 によって、認証に関わるハイテク業界は、セキュリティとユーザー体験の向上を両立し、堅牢でフィッシング耐性がある Web 上での認証技術標準を初めて確立しました。本日発表した認定製品と主要な Web ブラウザの FIDO2 サポートによって、これらの新しい機能が市場に投入され、この両立が実現するのです。また、一般の消費者と企業向けのいずれにおいても、モバイル、デスクトップを問わずあらゆる Web アプリケーションにおいて、このイノベーションをインターネット規模で活用できるようになりました。これは、FIDO アライアンスが中心となって業界で設計し、運営される独立した認定プログラムであるため、ゆるぎない信頼性が確保されています。」と述べています。

セキュリティキーや生体認証器、クライアントおよびサーバーの FIDO2 認定を取得した組織は次の通りです。
[CROSSCERT: KECA \(Korea Electronic Certification Authority\)](#) ; [Dream Security Co., Ltd. Korea](#);

[ETRI](#); [eWBM Co., Ltd.](#); [IBM](#); [Infineon Technologies](#); [INITECH Co., Ltd.](#); [Nok Nok Labs](#) (ユニバーサルサーバー) ; [OneSpan](#); [Raonsecure](#); [Samsung SDS](#); [Singular Key](#); [Whykeykey Inc.](#); [Yahoo Japan Corporation](#); [Yubico](#)

また、本日の発表には初の認定 FIDO ユニバーサルサーバーが含まれています。これを利用することで、サービスプロバイダーはすべての FIDO 技術仕様 (FIDO UAF、FIDO U2F、FIDO2) に基づいて認証器との間で互換性を担保できます。

FIDO2 詳細

FIDO2 は、[W3C の Web 認証仕様](#)と FIDO アライアンスが提供する[デバイス間連携仕様 \(CTAP\)](#) で構成されています。これら技術標準の組み合わせにより、ユーザーは汎用的なデバイスを活用して、モバイルブラウザやデスクトップブラウザを通じて、オンラインサービスをより簡単に使うために認証することができます。FIDO2 は、パスワードレス、2 段階認証、多要素認証など、さまざまな認証ユースケースと認証体験を最高レベルでサポートしています。パスワードのみのログインは、デバイスに組み込まれた生体情報 (顔、虹彩、指紋) を用いた簡単なジェスチャー、もしくは携帯型セキュリティキーに置き換えることができます。

これらのシンプルで便利なユーザー体験は、ユーザーは意識することなく堅牢な暗号学的セキュリティによって安全性が担保されており、フィッシング、奪取された資格情報 (認証情報) を使用した中間者攻撃などから保護します。FIDO2 対応の Web ブラウザとオンラインサービスは、以前に認定された FIDO U2F セキュリティキーと完全に後方互換性があります。

FIDO 2 に関するさらなる情報については、FIDO アライアンスの Web サイトを訪問してください。開発者と製品ベンダーにとって有益な認定プログラムに関する情報もあります。

ヤフーからのコメント：

FIDO2 の認定を取得したことにより、Yahoo! JAPAN で FIDO 認証が利用できるようになります。これは、パスワードが抱える課題を解決し、今よりも安心・安全で簡単なログインを実現できるということです。今後は、Yahoo! JAPAN のユーザーに FIDO 認証を利用いただくことで、日本の市場にパスワードレスの世界を浸透させていきます。

(ヤフー株式会社 ID サービス統括本部 ID ソリューション本部長 菅原 進也)

FIDO アライアンスとは

「高速なオンライン ID 認証」を意味する FIDO (Fast IDentity Online) アライアンス、www.fidoalliance.org は、セキュリティと利便性の両立をめざすため、2012 年 7 月に設立されたグローバルな非営利団体です。[堅牢な認証](#)に相互運用性が確保されていない状況を改善し、ユーザーが多くの ID とパスワードを覚えなければならないという煩わしさを解消することを目的としています。FIDO アライアンスは、認証におけるパスワード依存を軽減するために、オープンで拡張性と相互運用性のあるシンプルで堅牢な「FIDO 認証」を標準化することで、オンラインサービスの本質に変革をもたらします。